月刊
みやぎのボランティア・市民活動情報誌

ゆるる
杜の伝言板

2013
8月号
Vol.195
毎月1日発行

災害ボランティア・NPO活動
www.akaihane.or.jp
サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO 活動サポート募金」助成事業

福島はこいしい

でも、不安なの……

きらら女川再建の『ありがとう』を伝える

「まけないぞう」制作中！

特集 復興への道

- ●NPO法人きらら女川
- ●NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
- ●NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元
- ●NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ
- ●NPO法人防災・減災サポートセンター

【トピックス】 ■NPOで高校生の夏ボラ体験2013
～事前学習会開催報告～

女川に蘇る障がい者の働く場

●NPO法人きらら女川

震災から二年、宮城から遠く離れた鳥取で活動再開の道を探ってきたきらら女川が、先月、女川町鷲神浜で念願の施設再建を果たしました。

当初、今年四月を予定していた新施設の竣工はスケジュールが延びに延び、結局七月二十五日に竣工式を迎えました。

●●● 女川町で唯一の就労支援 ●●●

NPO法人きらら女川（以下、きらら女川）は二〇一〇年十二月に宮城県の指定を受け、女川町で唯一の知的・精神障がい者のための就労支援事業を始めました。

理事長の阿部雄悦さんはもともと女川町内でかりんとう製造会社を経営していました。そこで作られるかりんとうの生地は全国多くの就労支援作業所で二次加工され、障がい者の人々の収入確保に欠かせないものになっていました。ところが、自身が住む女川町には作業所がありません。これがきらら女川設立のきっかけとなりました。

「設立するまでは、本当に女川町に就労支援が必要なのか、と疑問視する声もありました」と話すのはきらら女川の施設管理者松原千晶さんです。松原さんはもともと鳥取県でやはり障がい者の就労支援事業を行うNPO法人に関わっていましたが、きらら女川の設立時、阿部さんに乞われる形で女川の支援に入ることになりました。

利用者は設立当時四人だけでしたが、設立前の不安をよそにすぐに評判を呼び、その後数か月で十一人にまで増えました。

ところが、二〇一一年三月の津波がきらら女川の出鼻をくじきました。

魚市場のそば、宮ケ崎にあった施設は骨組みを残して全壊。十一人の利用者のうち二人が亡くなり、阿部さんの会社も操業不能となりました。

●●● 女川から鳥取、そして再び女川へ ●●●

震災からひと月が過ぎた四月、阿部さん、松原さんはいったん拠点を松原さんの地元鳥取に移すことを決めました。

全国の作業所は阿部さんの製造するかりんとうの生地を心待ちにしています。そのため、先の見通しがつかない女川ではなく、鳥取を足掛かりに少しでも早く再起をはかりたかったのです。

鳥取県伯耆町で新拠点、就労支援施設きらら女川「ひかり」とかりんとう製造工場「ゆめ工房21」が完成したのは、二〇一一年六月のこと。

ただし、それで「めでたしめでたし」というわけではありません。「必ずまた女川に戻って女川で事業を再開させると心に決めていました。活き活きと働く『ひかり』の利用者の姿を見るたびに、働きたくても働けない女川の人々のことが脳裏をよぎりました」と松原さん。本業で多忙な阿部さんに代わって、その六月以降毎月一度は女川へ戻り、かつての利用者の状況を聞き込み続けました。

昨年四月からは新しい作業所建設のための用地探しも開始。しかし、平地が少ない女川町のこと、用地は簡単には見つかりませんでした。阿部さんは「土地が見つかれば、とにかく買う」と言い、ようやく現在の土地が見つかった時には、自らの目で土地を確かめることもなく購入を決めたほどです。

今年四月にはきらら女川の活動にと寄贈されたプレハブで事業を再開。設備の関係でかりんとうは作れませんでしたが、利用者は久々に働く喜びをかみしめました。新施設竣工後、そのプレハブも移設改修し、地域の集会所として開放予定です。

「これでようやくスタート。女川での再開に至るまで、多くの方の善意を頂きました。お世話になった方々への恩返しの意味でも、この作業所をどう活かしていけるかが大切です」と松原さんは言います。

働く場所がある、そんなかつてはあたり前だった日常の光景が一つ、女川に蘇ります。

▲今年7月、新施設完成を前にプレハブ内で作業をする利用者のみなさん

NPO法人きらら女川
〒986-2243 牡鹿郡女川町鷲神浜鷲神144-7
●TEL：0225-98-8062
●FAX：0225-98-8074
●E-mail：nqwsp700@yahoo.co.jp

福島も仙台も隔てなく　子育てをサポート

●NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

今年七月、福島県から仙台市へ避難している女性たちのプロジェクト「福ガール'S プロジェクト」が立ち上がりました。このプロジェクトの仕掛人はNPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク(以下、ファミサポ)です。

ファミサポは、仙台市内・宮城県内の子どもと家族福祉にかかわる団体や機関とネットワークをつくり、地域の子育て環境の改善と家族の支援を目的として活動しているNPO法人です。仙台市が子育てを総合的に支援するために設置した施設「仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台」の運営も担っています。

福島ママのサロンを開始

ファミサポが他地域から移住してきた親子への支援を行うのは、今回が初めてではありません。もともと、他地域からの転勤や引越しのために仙台で初めての子育てをしている親子を対象とした「仙台初心者親子のためのウェルカムパーティ」を年二回、春と秋に開いています。

福島県からの避難親子との関わりを持つようになったきっかけは震災後の二〇一一年十一月。秋のウェルカムパーティでの出来事でした。

「福島から避難して太白区に住んでいるお母さんが参加していて、『泉区や太白区の施設では、福島から避難してきた乳幼児親子向けにサロンが開催されているけれども、のびすく仙台では、開催しないのか』と問われました。それをきっかけに、私たちでもやってみましょうということになりました」と担当の三浦三恵子さんは語ります。

こうして昨年二月から「福島ママのためのママともサロン0123」が始まります。エル・パーク仙台を会場に、託児サービスを付け、お母さん自身の悩みや不安をゆっくりと話せる環境を作りました。

サロンでは、自主的に避難している人と避難区域に住んでいる人との受けられる行政サービスの格差についての悩みや福島に戻った時に震災前のようにコミュニティになじむことができるのかという不安、福島県の情報がなかなか入ってこないのでもっと情報がほしいなどの様々な話題が出ていました。

ところが、次第に県内各地で同じようなサロン活動が行われるようになり、回を追うごとに参加人数は減っていきました。その様子を見て三浦さんは「地域に根差したサロンが各地で開催されていることから『街の中にあるのびすく仙台だからこそ』の支援ができないか」と考えるようになりました。

受け身から脱皮した女性たち

ファミサポは避難者が立ち上がるための支援へと切り換えることにして、サロンは今年三月に終了。その際「次年度はイベント的なものの企画・運営を一緒にやりませんか」とサロン参加者に提案すると三名が手を挙げ、「福ガール'S プロジェクト」が立ち上がることになりました。

「福ガール'S プロジェクト」の目的は福島県の女性視点による情報発信を宮城県からしていくこと。「宮城に避難している女性の現状を知ってもらいたい」「男性の避難者の話はよくあるが、母子の話はほとんど出ていない」といった福島ママの悩みや不満を共有し、その輪をつなげていくことを目指します。

現在、プロジェクトメンバーは福島県から仙台市および近郊に引っ越してきた二十～四十代の女性たち(未婚・既婚を問わず)九名。ファミサポでは、当面は今年十一月に開催される「男女共同参画推進せんだいフォーラム2013」への参加を目標にプロジェクトメンバーとともに企画を練り上げていくことになります。

▲福ガール'sプロジェクト立ち上げ後、初の打ち合わせの様子

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
〒980-0803　仙台市青葉区国分町3-8-17
日東ハイツ204
●TEL/FAX：022-714-2088
●E-mail：soumu@nobisuku-sendai.jp
●URL：http://sefami.sakura.ne.jp/sefami/

安心な高台に建つ新施設で再出発

●NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元

宮城県の沿岸被災地で一番南に位置する山元町は、地震発生後、およそ一時間で大津波が襲来し、二〇〇〇棟を超える家屋が流出しました。JR常磐線山下駅の近くに施設を二つ持っていたNPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元(以下、ささえ愛山元)にも大きな被害がありました。駅東側の宅老所と事務所は流出し、すぐ近くの自宅にいた中村怜子理事長は津波に襲われ、首まで水に浸かりながら十四時間過ごした後で助けられました。一方、駅西側にあったデイサービスセンター「ミニホーム愛広舘」も一階屋根まで津波が押し寄せたため、職員四名は二階に逃れました。

この震災で、ささえ愛山元の職員三名が亡くなり、施設も使えない状態になりました。避難所で再会した中村さんとスタッフは、再起する気力を失いかけましたが、やはり利用者のことが気がかりで、その安否確認に動き出しました。日が経つにつれ、これまで付き合いがあった他県のNPOだけでなく、それまで付き合いがなかった人々、企業などからも支援金や支援物資が送られてくるようになりました。主に被災した高齢者のため、避難所を回り、それらの物資を届けました。

待たれていた居場所

山元町の拠点を失ったささえ愛山元でしたが、県内の障がい者支援ネットワーク『被災地障がい者センターみやぎ』県南支部の運営を委託されることになりました。亘理町を中心に地域障がい者へ移送サービスや物資の提供などをしたほか、仮設住宅の近くでパラソル喫茶を開くなど活動を続けました。

そしてその年の十月には、山下駅の西側にあったデイサービスセンター「ミニホーム愛広舘」を改修し、再開しました。

震災後、施設がなくなったことで、以前の利用者はすでに他の施設に移っており、再開はまさにゼロからのスタートになりました。しかし、地域の人たちも再開の日を待ちわびていて、徐々に利用者は増えていきました。

そのような中、地域住民から「高齢者が泊まれる場所が少ない」という声が多く聞かれるようになりました。ささえ愛山元では津波で流失した宅老所を新たに作る計画を検討しましたが、宅老所があった土地は危険区域に指定されてしまったため、施設の建設ができません。そこで新しい施設は高台に作ることにし、土地購入の検討を始めました。

新施設再建へ

震災時の活動が町からも認められていたささえ愛山元は、厚労省の復興交付金事業として計画された介護基盤復興まちづくり整備事業の実施事業者として指定され、施設再建に三〇〇〇万円の交付金が下りることが決まりました。それを機に施設計画は本格化し、思い描いている高齢者ケアや地域の居場所などを設計図に反映していきました。

土地探しは難航しましたが、今年になって高台に位置する山元町真庭での施設再建がいよいよ始まりました。ただし、被災地では建設資材の供給不足や人手不足が重なっており、完成は七月まで延びました。新しい施設の風呂場にはリフトが設置され、トイレは車いすでもゆとりがある広さを確保。大きなガラス戸で開放感がある談話室など、ゆったり過ごせる心配りが随所に見られます。

八月一日から新しい施設でのサービスが始まります。宅老・デイサービスだけでなく、仮設住宅やみなし仮設に住む人々が集まる場や、手仕事のための作業所にもしたい、と中村さんやスタッフの夢は膨らんでいます。

▲8月のオープンに向け、新施設は急ピッチで工事が進んでいました

NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元
〒989-2112 亘理郡山元町真庭字名生東119-1
●TEL：0223-37-3333
●FAX：0223-32-3288
●URL：http://sasae-i.org/

世代を越えた交流の場に

●NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ

石巻市田道町に地域コミュニティ形成のための場、「市民協・いしのまきハウス」があります。

この「市民協・いしのまきハウス」を管理・運営し、パソコン教室やコミュニティカフェの開催で地域コミュニティへ貢献しているのはNPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ(以下、うめばたけ)です。

コミュニティと生きがいづくり

うめばたけの活動は、二〇〇〇年にスタートしました。高齢者・障がい者が互いに交流し、生活を楽しむことのできる場を提供することを目的とし、関わる人たちの特技や、専門知識を共有しながら、地域のコミュニティづくり、生きがいづくりを進めてきました。

当初は、シニア対象のパソコン教室を中心に行ってきました。IT化が急速に進み、情報技術格差が広がる中、シニア同士で教え合うスタイルのパソコン教室は大盛況でした。

その後、英会話教室、健康麻雀教室、日本語教室、朗読教室など、会員同士がそれぞれの特技や知識を活かし、教え合い、学び合うスタイルで、地域のシニア世代の人たちが集う場所となりました。現在の会員数は約三十名。うめばたけは、学びの場だけではなく、情報交換の場にもなっています。

震災後、うめばたけは石巻で活動する災害ボランティア団体に活動拠点を提供し、自身の活動は休止状態となっていましたが、昨年からはまた活動を再開することができるようになりました。

▲講師とほぼマンツーマン体制で、思い思いにパソコンを楽しむ参加者

シニア向けからすべての世代へ

昨年十一月、NPO法人市民福祉団体全国協議会(以下、市民協)と協働し、被災地である石巻におけるコミュニティ形成の拠点となる「市民協・いしのまきハウス」を開所しました。建物は、大和ハウス工業㈱・大和リース㈱から市民協に寄贈されました。

以降、うめばたけでは、「市民協・いしのまきハウス」を使ってコミュニティカフェを月に二回開催してきています。漫談、玄米ダンベル体操、絵手紙、演奏会など、テーマは様々ですが、回によっては四十人以上の参加者が集まるほどの盛況ぶりです。

今年六月には、震災前に活動していたプレハブの建物を「うめばたけこども図書室」としてオープンさせました。札幌で活動するボランティア団体、北海道ブックシェアリングから寄贈された八〇〇冊の絵本・図書にうめばたけ関係者の持ち寄りも合わせ、約一〇〇〇冊の蔵書を揃えました。また、こども図書室は地域の子どもたちが気軽に集まれる場所にもなっています。事務局スタッフの戸田碧さんは「家庭には兄弟がいなくても、ここに来ると「お姉ちゃん」や「お兄ちゃん」になれる。兄弟が少なくなっている今、こんな体験ができる場所は多くありません。ぜひ、放課後の学校のような感じで使ってほしいです」と語ります。

子どもだけでなく、いろいろな世代の人たちに集ってもらえるように、秋からはヨガ教室や手作り工芸教室なども開催していく予定。

「将来的には、シニアが中心に集うコミュニティカフェ、子どもたちが集うこども図書室、それに若いお母さんや赤ちゃんが集う『ママ友コミュニティカフェ』など、それぞれに集う人たちが一堂に会せるようなイベントを開催できたら……」とうめばたけ理事長伊藤壽朗さんの夢は広がります。

震災で、避難を余儀なくされ、一度は崩壊してしまった被災地の地域コミュニティや、古き良き地域の人々とのつながり。まちの寄り合い所・うめばたけを拠点として、世代を越えたたくさんの人々が今、笑顔を取り戻しつつあります。

NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ

〒986-0872　石巻市田道町1-15-2
●TEL/FAX：0225-23-9066
●E-mail：npoumebatake@gmail.com
●URL：http://umebatake.org/

防災を非日常から日常に

●NPO法人防災・減災サポートセンター

防災はなかなか普段からは意識しづらいもの。NPO法人防災・減災サポートセンター（以下、防災・減災サポートセンター）は地震への防災について、震災前から警鐘を鳴らし続けてきました。

防災マップで地域防災力強化を

防災・減災サポートセンターが設立・法人化されたのは二〇〇九年二月。メンバーには地質調査の専門家が集い、その知見を活かして地震や水害などへの防災・減災に寄与することを目的に活動しています。

防災・減災サポートセンターの前身は公益社団法人日本技術士会東北本部応用理学部会で二〇〇三年に結成された地震防災ワーキンググループ（以下、WG）です。この年の七月、現在の東松島市鳴瀬や矢本、現石巻市の河南を中心に一日に震度六強の地震が三度頻発した、いわゆる「宮城県北部連続地震」が発生しています。

折しも、三十七～四十年サイクルで起こるとされる宮城県沖地震の次の発生も危ぶまれており、来るべき大地震に備え、社会に貢献するためにWGが発足したのです。具体的には各地域で防災マップの作成支援をすることになりました。

なぜ、防災マップ作りなのか。防災・減災サポートセンター理事長の今野隆彦さんはこのように答えました。

「自分たちの武器を考えるとやはり地質調査に行きつきました。地中や地表の地質調査を取り入れながら地域の防災マップ作成の手伝いをしたらよいのではないかと」

マップ作りをすることは自分の住む町をよく知ることになります。そして災害に弱い場所や避難所の場所も自然と頭に入ってくるというわけです。マップを作る際は、講座、マップ作成、振り返りを一セットで実施します。そして防災・減災サポートセンターの役割はあくまで、サポート。『地域のことは地域の人が一番わかっている』との考えから、マップ作成の指示はしません。

▲2010年に若林区法領塚下町内会で行われたマップ作りの様子

規格外の震災を経て

前身のWG時代も含め、これまでに作成した防災マップは全部で十六か所。依頼があれば県外にも行きました。

ただし、地震被害は当然念頭に置いていましたが、震災前までの防災マップには津波対策は入れ込むことは出来ていませんでした。幸い、震災前に防災マップを作成した地域では、地震によっていくつかのブロック塀が倒壊するなどの被害は出たものの、深刻な津波被害を受けた地域はありませんでした。もちろん震災後には津波も想定して防災マップ作りを行っています。

また、NPO法人化後に力を入れ始めたことに福祉施設の防災支援があります。福祉施設の利用者は一般的には災害弱者とみなされます。そのような人々が、果たして災害時に逃げることが出来るのだろうかという疑問がきっかけです。実際に、震災では逃げ遅れた、もしくは逃げられなかった福祉施設利用者が多く犠牲になりました。

防災・減災サポートセンターでは、震災以降二年にわたり、石巻地域におけるGIS（地理情報システム）を使った広域防災マップの作成を独立行政法人福祉医療機構の助成のもとに行い、各福祉施設での防災マニュアルの見直し、避難ルートの検討といった支援を実施してきました。

今後、防災・減災サポートセンターではもっと学校での防災教育に力を入れたいと考えています。『こんなことが防災に役立つ』といった日常的な防災知識を、若いうちから身につけておくことが、地域の防災意識の底上げに必要だからです。

NPO法人防災・減災サポートセンター

〒981-3304　黒川郡富谷町ひより台2-11-3
●TEL：022-358-9151
●FAX：022-348-6965
●E-mail：info@bousai-support.or.jp
●URL：http://bousai-support.or.jp

NPOで高校生の夏ボラ体験

～事前学習会開催報告～

2013

夏休みを利用して高校生がNPOのもとでボランティア体験をする「NPOで高校生の夏ボラ体験」、今年度十一回目を迎えるプログラムが始まりました。

とは言っても、いきなりボランティア活動が始まるわけではありません。まずは高校生にNPOのこと、そして受入団体のことを知ってもらう必要があります。

そこで夏ボラのプログラムでは、毎年、体験前に事前学習会を組み込んでいます。

三日で一〇五名の高校生が集結

夏ボラ事前学習会は七月十三日に大崎市で、十四日、十五日には仙台市で開催されました。三日間を通して一〇五名の高校生と、二十八の団体が集まりました。

学習会は杜の伝言板ゆるる代表理事大久保朝江による「NPOとボランティア」をテーマとした講義から始まりました。講義では、NPOとはどういう組織なのかについて、また、ボランティアをするうえで大切なことが伝えられました。高校生にとっては普段関わる機会の少ないNPOを知る貴重な講義となりました。

▲高校生は各受け入れNPOからの説明を熱心に聞いていました

次に、河北新報社教育プロジェクト事務局長の佐藤理絵さんによる、「新聞で学ぶ文章講座」がありました。高校生はボランティア体験後、自分が感じたこと、気付いたことを体験談として書くことになります。体験をしただけで終わりにするのではなく、振り返りをすることで体験をより有意義なものとし、自分の考えを文章で伝えられるようになってほしいからです。そこで、佐藤さんの講座では、人に伝わる文章の書き方を学びました。

人との出会い、大切に

続いて各受け入れ団体からの団体紹介がありました。囲碁の普及を目指す団体「碁ランティア」が実際に囲碁を実演してみせるなど、終始和やかな雰囲気でした。

団体紹介が終わるといよいよ高校生と各団体の顔合わせ。それぞれの団体ごとに分かれて打合わせを行いました。活動場所、服装、昼食についてといった簡単な確認事項から、団体紹介の時間では伝えきれなかった団体側の思いなど熱心に話し合っていました。高校生からは、「三日間で自分が何をすればいいのか分かり、今から楽しみです」「団体さんのことをよく知ることができました」という声が聞かれました。

夏ボラに参加する高校生の目的は様々で「将来自分がやりたい仕事を今のうちから体験しておきたい」「普段関わることのない人と関わる機会なので、人との出会いに期待して参加しました」などなど。

この夏休み、期待と不安を胸に抱えた高校生たちが、それぞれ二日間もしくは三日間のボランティアを体験します。

今回の事前学習会の運営にはゆるるスタッフとして、東北大学の学生佐藤智寛さんが加わりました。今年度、ゆるるは住友商事株式会社が実施する「住友商事　東日本再生ユースチャレンジ・プログラム2013」を通じ、佐藤さんともう一名、合せて二名の学生をインターン生として受け入れています。

インターン生として事前学習会に参加した佐藤さんは「高校生のみなさん同様、私も〝人との出会い〟に期待してインターンに参加しました。出会いが増えればそれだけ様々な考えを持つ人と関わることできます。その経験を将来への糧としていきたいです」と話しています。

夏ボラもインターンもまだまだ始まったばかり。高校生もインターン生もお互いに切磋琢磨して、自分を磨いてほしいと期待しています。

【NPOで高校生の夏ボラ体験2013】

主催・問合せ：NPO法人杜の伝言板ゆるる
連絡先は、裏表紙をご覧ください。
夏ボラブログ：http://flat.kahoku.co.jp/u/yururu/

あなたの「知りたい」に答えます

宮城県内のNPOの検索・情報サイト「みやぎNPOナビ」

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

宮城のNPOがすべてわかる!?

「困りごとを解決してくれるNPOを探しているけど、うまく見つからない……」「自分の住んでいる地域にどんなNPOがあるか知りたいけど、どこで探せばいいの?」など、NPOや市民活動団体を探すのに苦労したことはありませんか? これまで宮城県内のNPOを検索できるサイトはいくつもありましたが、情報が地域や分野で限定されていたり、サイト毎に登録団体や掲載情報が異なったり……と、運営がそれぞれのサイトで違うため、利用者にとってはなかなか求める情報が得られず、不便な点がありました。

そこで、県内のNPO情報を集約させた検索サイトとして、今年三月に「宮城県内のNPOの検索・情報サイト『みやぎNPOナビ』」が開設されました。現在、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、NPO法人杜の伝言板ゆるる、そして県内七市が協働している「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」が設置・運営をしています。

誰でも簡単に検索

みやぎNPOナビには、主に「みやぎNPO情報ライブラリー」「みやぎNPO情報ネット」、そして仙台市保有の団体情報をベースに、五〇〇以上※もの団体情報が登録されています。

検索はいたって簡単。トップページの検索バーを使って、団体名や活動内容のキーワードから検索するだけ。活動のジャンルや活動地域から調べたい、または複数の条件を指定して対象を絞り込みたい、などという時は、条件を指定しての詳細な検索も可能ですので、個々のニーズに合わせた団体を絞り込むことができます。検索した団体情報には、団体の活動内容、連絡先などの基本情報に加え、ホームページ、facebook・twitterなどのSNS、他サイトで登録している団体情報ページへのリンクなども含まれ、時代に合わせた情報も盛り込んだ充実した内容になっています。

同じサイト内に各市町村のページが設けられていることも、このサイトの大きな特徴のひとつ。市町村ごとにNPO支援情報や法制度に関すること、活動に役立つイベントや講座の情報などを発信しています。この情報は各市町村の担当者が更新・管理していますので、信頼性の高い「旬」の情報を得ることができます。

▲「みやぎNPOナビ」トップページ画像

※2013年7月現在

団体登録は随時募集!!

みやぎNPOナビでは、NPO・市民活動団体からの団体登録を随時受け付けています。NPOにとって、団体の情報を発信していくことは信頼を高めるために必要不可欠。ホームページを持っていない団体などは情報を公開する良い機会になりますので、ぜひ登録してみてはいかがでしょうか。

【みやぎNPOナビ】 http://miyagi-nponavi.jp/

◎サイト・サービスに関してのお問い合せ
みやぎNPO情報公開システム運用協議会
●〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-11-6
コーポラス島田B–6(NPO法人杜の伝言板ゆるる内)
●TEL：022-791-9323　●FAX：022-791-9327
●E-mail：info@miyagi-nponavi.jp

プラザの無料NPO相談

法人設立・運営相談	毎週水曜日
初級者向け ITなんでも相談	8/22(木)
会計・税務相談	8/29(木)

各相談要予約　申込
定員3団体(先着)

各相談
13:00〜17:00
(1団体あたり約1時間)

みやぎNPOプラザ
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)
☎ 022-256-0505
📠 022-256-0533
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。
みやぎNPO情報ネット
http://www.miyagi-npo.gr.jp/

今月の

助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

第14次　ジャパン・プラットフォーム「共に生きる」ファンド

●助成対象：・東日本大震災の被災地・者に対する支援活動全般（行政との連携を含む）
・全国にある被災者の避難先における活動
●対象団体：応募時点で所定の要件を満たす非営利法人
※法人格のない任意の団体は含みません
●助成金額：当ファンドの助成を受けたことがない場合
1）法人登記から1年未満、または前年度の支出実績が50万円未満の団体
1事業あたり100万円まで
2）前年度の支出実績が50万円以上200万円未満の団体
1事業あたり500万円まで
3）前年度の支出実績が200万円以上の団体
1事業あたり1,000万円まで
当ファンドの助成を受けたことがある場合
原則1事業あたり1,000万円まで。
●助成期間：事業期間について当ファンドの助成を受けたことがない場合は最長3ヶ月まで
初回の事業が問題なく実施されたことが確認される場合には、次回申請事業からは最長１年間まで可能とします
※組織の能力上可能と認められる場合には、１団体が複数の拠点・事業・複数回の申請が可能
●募集締切：８月２０日（火）～同年８月２７日（火）
●連 絡 先：NPO法人ジャパン・プラットフォーム
事務局事業部（震災担当）
〒100-0013　東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル2階266区
FAX：03-3240-6090
E-mail：proposal@japanplatform.org
URL：http://www.japanplatform.org/programs/higashi-nihon/tomoni-ikiru.html

平成25年度　JICS NGO支援事業

●助成対象：⑴開発途上国における所定の分野でのプロジェクト、またプロジェクトを実施するために必要な基盤整備等にかかる費用
⑵日本国内における、組織運営の安定及び強化に必要な活動、開発途上国問題・難民問題・平和構築問題に対する啓発活動、ネットワーク型NGOの活動にかかる費用
●対象団体：⑴開発途上国において援助活動を行っている日本の国際協力NGO（3年以上の活動実績を有し、事業規模が1億円未満の団体）
⑵日本国内のネットワーク型NGO
⑶日本国内において開発途上国問題、難民問題、平和構築問題を扱っているNGO
●助成期間：2014年2月～ 2015年3月末に実施中の　事業
●助成金額：１団体あたり原則上限100万円（10団体程度の支援を予定）
●募集締切：8月30日（金）　消印有効
●連 絡 先：一般財団法人日本国際協力システム
総務部総務課NGO支援係
〒162-0067　東京都新宿区富久町10番5号
新宿EASTビル2階
TEL：03-5369-7480　FAX：03-5369-6961
E-mail：shienngo@jics.or.jp

平成25年度　障がい者福祉助成ジャンプアップ助成金

●助成対象：すでに障がい者の給料増額に一定の実績がある施設・事業所の行う、障がい者の給料増額のモデルケースとして、より本格的なしくみを取り入れた事業・設備投資
⑴平均工賃一人あたり既に月額２万円以上支給していること
⑵助成対象がより本格的事業を取入れた総事業費500万円以上の事業であること
⑶平成26年3月までに事業開始し、助成金を受給すること
●助成金額：上限500万円（助成件数最大9件）
●募集締切：8月31日（土）
●連 絡 先：公益財団法人ヤマト福祉財団　助成金事務局
TEL：03-3248-0691
URL：http://www.yamato-fukushi.jp
※メールでの問合わせは、HPより送信可能です

平成25年度 花と緑の復興支援活動助成（下半期）

●助成対象：簡易な花壇やプランター等の整備、栽培指導、花や緑の苗木の植栽など、被災地周辺の仮設住宅等における花とみどりを活用した復興支援活動
●対象団体：上記活動を主体となって実施するにあたり、応募対象者に支援要望を行う団体
※「花とみどりの復興支援ネットワーク」への登録が必要です
●活動期間：平成25年10月1日～平成26年3月31日
●助成金額：１件あたり上限25万円
●募集締切：9月15日（日）
●連 絡 先：国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部第一課
〒538-0036大阪市鶴見区緑地公園2-136
TEL：06-6915-4516　FAX：06-6915-4524

平成25年度（第20回）ボランティア活動助成

●対象団体：特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動を目的とした団体・グループ
学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します
※社会福祉協議会若しくは、共同募金会の推薦が必要です
●助成金額：1団体あたり上限30万円（総額3,300万円（上限3,600万円））
●助成期間：平成26年1月～ 12月に行われる活動
●募集締切：9月15日（日）　消印有効
●連 絡 先：公益財団法人 大和証券福祉財団
〒104-0031　東京都中央区京橋1-2-1
大和八重洲ビル
TEL：03-5555-4640　FAX：03-5202-2014

⑸ 9月30日(月)　問題行動を正す教育法
問題行動に介入する方法を身につける
⑹ 10月7日(月)　自分自身をコントロールする教育法
親子の緊張が高まる場面での対処方法を身につける

●講　　師：キャプネットみやぎ　CSPトレーナー
●場　　所：仙台市福祉プラザ10階
●対　　象：子どもとの関係に自信を持ちたいお母さま
●定　　員：10名程度(定員になり次第締切)
●参 加 費：2,800円(テキスト代)
●託　　児：1回300円、要予約
生後6か月以上7歳未満
●申込方法：所定の申込書に記入の上、下記連絡先まで申込
●主　　催：キャプネットみやぎ
●連 絡 先：〒980-0812　仙台市青葉区片平1-5-20-5F
弁護士　村松敦子気付
TEL/FAX：022-265-8867

9/6 ガールズのパソコン+しごと ゆる〜り準備講座

「小さいころから人間関係が苦手」「なかなか仕事が長続きしない」「気持ちが凹(へこ)んでいる」「ゆっくりが自分にあっている」「今の状況を変えたい…」そんな働きづらさや生きづらさを感じているガールズの参加をお待ちしています。

●日　　時：9月6日(金)〜9月27日(金)
※期間内で11講座開催
●場　　所：エル・ソーラ仙台(アエルビル28・29階)
●内　　容：★パソコン講座(12コマ)
仕事で使うワード、エクセル、インターネット、ビジネスメールの基本をわかりやすくお伝えします。
★しごと準備講座(9コマ)
社会にでるためのウォーミングアップの場です。「しごと」といっても働き方は様々。講師・スタッフが、社会に出るためのお手伝いをします。
※プログラムの詳細はチラシ・HPをご覧ください
●説 明 会：日時：8月21日(水)　13:30 〜 14:00
14:30 〜 16:00にカフェも開きます(参加費500円)
場所：エル・ソーラ仙台 サポートルーム(アエル29階)
申込：不要
●対　　象：15歳以上40歳未満の無職のシングル女性限定
(パートナーやお子さんがいる方は対象となりません)
●定　　員：20名　※応募多数の場合抽選
●参 加 費：一般3,000円、賛助会員2,700円
(テキスト代や材料費などすべて含む)
※減額制度を設けていますので、お問い合わせください
●申込方法：所定の申込書に記入の上、郵送にて申込
●申込締切：8月28日(水)　必着
●主　　催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
●連 絡 先：TEL：022-268-8044(平日9:00 〜 17:00)

9/11 記者が明かすマスコミの使い方10カ条 〜伝わる取材依頼を書こう!〜

NPOの成長や発展に、報道の後押しは欠かせません。どうしたら紙面や番組で取り上げてもらえるのか。報道機関との接点となるプレスリリースの書き方・送り方について、リリースを「受け取る」側の立場である記者の方よりお話頂きます。

●日　　時：9月11日(水)　13:30 〜 15:30
●場　　所：みやぎNPOプラザ　第1会議室
●講　　師：大泉大介さん(河北新報社 編集局デジタル編集部)
●内　　容：★プレスリリースってなに？
★取材依頼はどこに送る、どう送る？
★「相手を思う」 それが伝わる文書の第一歩
★トライ体験 プレスリリースを書いてみよう!
●対　　象：NPOや市民活動団体のメンバー・スタッフなど
●定　　員：20名
●参 加 費：800円
●持 ち 物：これまで実際に作成したプレスリリースの文面やチラシ(ある方)
●主　　催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
●企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
●連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧下さい)

9/18 正しく理解!お金の管理のしくみ

「会計を担当者1人に任せきりにしている」「団体の会計管理の方法に不安がある」など、お金の管理についてお悩みはありませんか？助成金や補助金は、もらって終わりではなく、報告ための日々の会計業務が重要となります。お金に関するトラブルはNPO法人全体の信用を損ないかねません。ミスや不正を防ぐための仕組みづくりについて学び、信頼される団体を目指しましょう！

●日　　時：平成25年9月18日(水)　13:30 〜 16:30
●場　　所：みやぎNPOプラザ　第2会議室
●講　　師：成田由加里氏(公認会計士、税理士)
●定　　員：20名
●資 料 代：1,000円
●対　　象：ＮＰＯ・市民活動団体の代表、会計担当者など
●主　　催：宮城県
●連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

情報をお待ちしています

○申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。　掲載は無料です!
○締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
○誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323　　FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

http://www.miyagi-npo.gr.jp

NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

●日　　時：8月31日(土)　10:00 ～ 12:00
●集合場所：仙台市市民活動サポートセンター 1階
●内　　容：★体験する(10:00 ～)
案内人の「グリーンバード　仙台チーム」と一緒にごみ拾い活動
場所：一番町周辺
★情報収集する(11:00 ～)
グリーンバードの活動紹介、まち美化活動の始め方、仙台市シニア活動支援センターの活用法などをお話しします。
場所：仙台市市民活動サポートセンター 3階
相談・つながるサロン
●案 内 人：太田貴氏(グリーンバード　仙台チーム)
●対　　象：・地域に密着した活動に興味・関心のある方
・地域・市民活動の内容や、参加のしかたについて知りたい方
・シニア世代が活動している事例を知りたい方など
※ご夫婦や仲間同士での参加も大歓迎
●定　　員：10名(申込先着順)
●参 加 費：無料
●持 ち 物：帽子、タオル、飲み物
(ごみ拾いの道具は準備しています)
●申込方法：名前、年齢、自宅か勤務先の連絡先(住所、電話番号、FAX、メールアドレス)を明記の上、FAXまたはTELにて申込
●主　　催：仙台市シニア活動支援センター
●連 絡 先：(担当：小林、葛西)
〒980-0811　仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター 3階
TEL：022-217-3983　FAX：022-217-3984

9/1 ～あなたの心に寄りそう～仙台傾聴の会 傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティア活動を通して、孤立する方々の心に寄り添そうことを心がけています。日常の中に生かせる「傾聴」、あなたも身につけてみませんか？ 3日間全課程出席の方に修了証を発行します。ぜひご参加をお待ちしています。

●日　　時：すべて日曜日　10：00 ～ 15：00
★1日目 9月1日「傾聴の基本」「共感と受容」
場所：仙台市シルバーセンター　第2研修室
★2日目 9月8日「傾聴スキル」「ロールプレイニング」
場所：仙台市シルバーセンター　第1研修室
★3日目 9月15日「認知症」「コミュニケーションエクササイズ」
場所：仙台市シルバーセンター　第1研修室
●定　　員：30名(定員になり次第締切)
●受 講 料：5,000円
(お振込みいただいた受講料は返金いたしません)
●持 ち 物：筆記用具、昼食
動きやすい服装でご参加ください
●申込方法：最初に必ず電話で申込。その後、受講料をお振込みいただいたことを確認して、受付といたします
受講料振込先：口座名　仙台傾聴の会
口座番号　02220-8-134520(ゆうちょ銀行)
※通信欄に住所・氏名(ふりがな)・電話FAX番号・養成講座受講と必ず明記の上振込
※振込票は講座初日に必ずご持参ください
●主　　催：仙台傾聴の会
●連 絡 先：TEL：090-6253-5640

9/1 エコフェスタ2013　リユースマーケット　もったいない市

●日　　時：9月1日(日)　10:00 ～ 15:00
●場　　所：勾当台公園　市民広場　グリーンハウス前
●内　　容：★リユースマーケット
家庭の不用品を楽しく販売！
★古布の山コーナー
不用の衣類やシーツ･タオルなど､お持ちください。ふろしきや毛糸、きものも集めています(透明な袋などに入れてください)
※持ち込めないもの
・わたの入ったもの(ジャンパー、キルティング、ぬいぐるみ等)
・カーテン、生地、ハギレ等
・フリース、ビニール・革製品
・制服、作業服
・洗濯していないもの、汚れのひどいもの

【リユースマーケット出店者大募集】
●出店スペース：1シート2×2m　(限定30シート)
●参 加 費：2,000円
●申込方法：下記の必要事項を記入の上、往復ハガキ、メール(ケータイ不可)、FAXにて応募
⑴代表者氏名・住所・電話(当日も連絡可能なもの)・FAX
⑵参加人数
⑶販売品名　※要項不備の場合は無効
締切後、出店許可書(注意事項等)をお送りします
販売品は家庭で不用になった品物に限ります
商売がらみの販売や業者の方の応募は固くお断りします
●応募締切：8月20日(火)

【ボランティア大募集】
●活動内容：古着の仕分け、販売
●申込方法：下記連絡先までご連絡ください
●主　　催：ACT53仙台
●連 絡 先：〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-11-5
コーポラス島田A-105
TEL&FAX:022-295-2910
E-mail:act53sendainakama@yahoo.co.jp
URL : http://blog.canpan.info/act53sendainakama/

9/2 コモンセンスペアレンティング 第5回 怒鳴らない子育て「学びと練習」

コモンセンスペアレンティングとは、親・大人がどのように子どもに関われば良いのかという問いに具体的なスキル(DVD、マンガ等)を用い、実践、練習して効果をあげるプログラムです。1人でも多くのお母さま方の子育てに自信を持っていただければと思います。

●内　　容：以下6セッションで1つのプログラムです
⑴ 9月2日(月)　わかりやすいコミュニケーション
具体的に表現する方法を身につける
⑵ 9月9日(月)　良い結果、悪い結果
子どもの良い行動を増やし、悪い行動を減らす方法を身につける
⑶ 9月13日(金)　効果的な誉め方
効果的に誉める方法を身につける
⑷ 9月24日(火)　予防的教育法
前もって､子どもに言って聞かせる方法を身につける

★写真コンクール
ひまわりの写真を撮って、下記までお送りください！素敵な写真を送ってくれた方には、若林区の野菜をプレゼント！
E-mail：himawari.photo.contest@gmail.com
郵送：下記連絡先住所まで送付

●主　　催：一般社団法人ReRoots
●連 絡 先：ReRoots若林ボランティアハウス
〒984-0033　仙台市若林区荒浜字今泉59-3
TEL/FAX：022-762-8211
E-mail：reroots311@yahoo.co.jp

8/10 レイキ交流会@東北

レイキとは、日本発祥のハンドヒーリング手法（手当療法）で、世界各国で実践され、先進国の医療にも取り入れられている効果的な癒しの手法です。交流会はどなたでも参加できます。愛と調和のエネルギーを一緒に体験してみませんか?

★レイキヒーリング体験会を、同日同会場で10:00 ～ 11:40に開催します。
参加費：寄附、要予約（下記連絡先までご連絡ください）

●日　　時：8月10日（土）　13:30 ～ 17:00（受付13:00 ～）
●場　　所：エル・パーク仙台　セミナーホール（141ビル5階）
●参 加 費：2,000円　※中学生以下無料
●申込方法：名前、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記連絡先まで申込
●主　　催：NPO法人現代レイキの会
●連 絡 先：（東北交流会実行委員：小澤）
TEL：090-8612-5698
E-mail：grn.touhoku@gmail.com

8/18 2013アートワークショップ まなびの庭

11月まで、毎月どなたでも自由に参加できるアートワークショップ「まなびの庭」を開催します。

●日　　時：すべて日曜日開催　11:00 ～ 15:00
★8月18日「SOAT夏祭り」
2つのお椀をくっつけたような道具、中国ゴマを作って遊びましょう
★9月15日「小さい秋を探そう」
秋の始まり。楽しいコラージュの製本作りをしましょう
★10月20日「ハロウィンワークショップ」
芸術の秋は「そあとの庭」でアートなハロウィンパーティ
★11月10日「蜜蝋（みつろう）のキャンドル作り」
「日本蜜蝋」の養蜂を営む大竹さんを迎えた蜜蝋による本格的なキャンドルづくり
●場　　所：そあとの庭（仙台市青葉区郷六笹ノ上5-4）
●定　　員：各回とも20名
●参 加 費：各回とも1人1,500円（材料費込み）
●申込方法：所定の申込用紙に記入の上、FAXまたはE-mailで申込
※当日申込の場合は、電話でご連絡ください（定員になり次第締切）
●主　　催：NPO法人東北の造形作家を支援する会（SOAT）
●連 絡 先：〒989-3121　仙台市青葉区郷六笹ノ上5-4
TEL：022-398-8844　FAX：022-398-8845
E-mail：head@soat.jp
URL：http://www.soat.jp

8/30 さをり織り展示会「nisipirica イロオリ」

アトリエで生まれた作品はどれもどこか不思議で、個性的。それはメンバーが各々持っている障がいという名の感性、その生き方がふんだんに込められているからではないでしょうか。世界で一つの、その人じゃないと作れない織り物、そんなアートを、是非広めていきたいと考えています。

●日　　時：8月30日（金）～ 9月3日（火）
開館時間11:00 ～ 17:30
●場　　所：ギャラリーチフリグリ（仙台市宮城野区五輪1-11-12）
●主　　催：nisipirica（ニシピリカ）
●連 絡 先：nisipirica（ニシピリカ）、
NPO法人黒川こころの応援団
〒981-3621　黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL：070-5546-8669（ニシピリカ　遠藤）
022-347-0028（NPO法人黒川こころの応援団）

8/31 NPO活動お試し体験企画 みんなでまち美化活動にでかけてみませんか。

今回は、NPO法人green bird（グリーンバード）という市民活動団体が行っている、ごみ拾いの活動に参加します。また、まち美化活動やシニア活動支援センターについても紹介します。ぜひこの機会に、地域・社会貢献の活動を知り、参加の仕方を見つけてみませんか?

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体

宮城県等所轄分6月11日～7月10日
仙台市所轄分6月11日～7月10日

	団体名	所在地	活動内容	受理日
仙台市	KIDS NOW JAPAN	若林区	総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する調査研究並びに総合的企画、総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する内外の情報収集・広報、総合的な地域社会づくりを目的とする事業に関する研修 等	6/28
仙台市	地域福祉活動研究会	青葉区	地域福祉実践活動（各種教室等）事業、地域福祉の人材育成事業、地域福祉の普及・啓発事業 等	7/1
仙台市	住まい・まちづくり支援ボード	青葉区	住まい・まちづくりに関する調査、研究事業、住まい・まちづくりに関する計画、設計および企画事業、住まい・まちづくりに関する技術の普及事業 等	7/2

宮城県のNPO法人数 **729団体**
宮城県等所轄：333団体
仙台市所轄：396団体
※2013年7月10日現在

NPO法人に認証された団体

宮城県等所轄分6月11日～7月10日
仙台市所轄分6月11日～7月10日

	団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等	そのつ森	伊具郡丸森町	高齢者福祉事業や宿泊・交流事業等を通じて地域での活性化を図る	6/14
宮城県等	あいのはな	柴田郡大河原町	単独型短期入所事業及び放課後等児童デイサービス事業を通じて障害者等の支援を行う	6/14
宮城県等	お茶っこケア	石巻市	地域住民への通所介護事業・障害福祉サービス事業や子育て支援事業 等	6/14
宮城県等	なりわい舎	東松島市	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業 等	6/14
宮城県等	ピースネイチャーラボ	気仙沼市	就労機会の安定創出, 共感型継続的購入（フェアトレード）を推進し、地域発展及び国際協力に資する事業	6/25
仙台市	被災支援ネットワーク・東北ヘルプ	青葉区	福島の原発事故による放射能被害に対する支援事業、津波により被災した人々に対する自立等支援事業、広報・啓発事業	6/17

●日　　時：7月20日(土)～8月25日(日)　9:00 ～ 22:00
※7/25、8/22は休館日
※土・日曜日13:00 ～ 17:00は、20世紀アーカイブ仙台のスタッフが常駐します。当時の話をお聞かせください
●場　　所：せんだいメディアテーク7階　ラウンジ
●主　　催：NPO法人20世紀アーカイブ仙台、せんだいメディアテーク
●連 絡 先：せんだいメディアテーク
〒980-0821　仙台市青葉区春日町2-1
TEL：022-713-4483　FAX：022-713-4482
E-mail：info@smt.city.sendai.jp
URL：http://www.smt.jp

8/6 石巻パソコン教室「パソコンを楽しむ」(初心者対象)

あなたのペースに合わせて、文書やはがき作成、表計算を学びませんか?メールやインターネットも学ぶことができます。またあなたのノートパソコンを持参しての学習も可能です。

●日　　時：8月6日(火)、8月20日(火)、8月27日(火)
全日程14:00 ～ 16:00
※毎週火曜日14:00 ～ 16:00に開催
●場　　所：市民協・いしのまきハウス(石巻市田道町1-15-2)
●対　　象：パソコン初心者の方
●定　　員：各回5名
●参 加 費：1回1,000円
●申込方法：下記連絡先までお問い合せ下さい
●申込締切：開催日前日まで
●主　　催：NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ
●連 絡 先：市民協・いしのまきハウス
〒986-0872　石巻市田道町1-15-2
TEL：0225-23-9066

8/7 フラワーセラピーショップ キャロブラン仙台 短期ショップ

オーストラリアのワイルドフラワー（プリザーブ加工された野生の草花）とリースやかご、リボン等フラワーアレンジに必要なグッズを販売します。出店期間中、フラワーセラピー体験してみませんか？今回は、「夏色コサージュ作り」を行います。
※コサージュ作りは、花材費(800円～ 1,000円)をいただきます。

●日　　時：8月7日(水)～8月13日(火)10:00 ～ 15:00(12日休館)
●場　　所：みやぎNPOプラザ　短期ショップスペース
●主　　催：フラワーセラピー研究会　仙台
●連 絡 先：TEL:090-9428-4342(上野)

8/10 シンポジウム　地方都市とHIV/AIDS

地方都市である仙台と福岡のHIV/AIDSを取り巻く状況や、それぞれの取り組みを紹介し、今後の対策について考えます。

●日　　時：8月10日(土)　14:00 ～ 15:30
●場　　所：仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室5
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
●ゲ ス ト：いちろう氏(Love Act Fukuoka)
●参 加 費：無料
●主　　催：東北HIVコミュニケーションズ
●連 絡 先：TEL：090-2847－3751(太田)
E-mail：sendai865@yahoo.co.jp

8/10 ひまわり祭り ～震災で緑が失われてしまった若林区の景観に彩りを～

震災の影響でいまだに瓦礫が残っていたり、耕作放棄地があったりと、かつての若林区の景観は失われてしまっているのが現状です。そこで私たちReRootsは、全国からのボランティアさんの力をお借りして、若林区に約2万本のひまわりを植えました。見ごろになる8月、地元の人はもちろん、仮設住宅に避難している人、遠くに住んでいる人にも足を運んで満開のひまわりを楽しんでいただきたいと思っています。

●日　　時：8月10日(土)、8月11日(日)
10:00 ～ 15:00　※雨天中止
●場　　所：仙台市若林区荒浜一本杉北
(荒浜小学校のはす向かいの畑)
「ひまわりプロジェクト」の看板が目印です
●内　　容：★ひまわり鑑賞　★金魚すくい　★屋台
★海野豆腐店の油揚が復活します
★被災された高齢者の方が作ったグッズの販売
★写生大会(8/10、8/11両日13:00 ～)
満開のひまわりを記念に絵に描きましょう！
素敵な絵を描いてくれた方には何かあるかも!?
※絵具を持参してください。画用紙は団体で準備します

かほく「108」クラブ通信　河北仙販

河北仙販は１９５９年７月１日創業で、河北新報の販売を主な業務として、仙台圏の発展とともに歩んできました。現在、仙台市内に３５店舗を展開、約１３万部を毎日配達しています。

読者に必要な情報を、早く確実に届けることを常に心掛けています。東日本大震災の際には、その思いを片時も忘れず業務にまい進しました。

かほく「１０８」クラブなど社会貢献活動にも力を入れています。荒井支店(同市若林区)では震災以降、2階会議室をボランティア団体に貸し出すなど、地域から愛され親しまれるよう常に努力しています。

▲「よし、がんばるぞ」とスタッフ

お　知　ら　せ

平成25年度 みやぎ花のあるまちコンクール

花づくりや緑の育成を奨励することにより、「ふれあい」と「思いやり」のある人づくり・地域づくり、そして美しいふるさと「みやぎ」づくりに取り組んでいる方々を対象としたコンクールを行います。

●募集対象：地域や職場などの団体（個人宅は除く）
●審　　査：審査会において書類審査の上、次のとおり部門ごとに入賞団体等を決定します
（過去3年間に本コンクールにおいて最優秀賞を受賞した団体は対象外）
★最優秀賞　1団体　★優秀賞　2団体
★優良賞　各若干数
●審査基準：以下の4つの項目に基づいて審査が行われます
・地域での協力・交流　・開放性
・企画・デザイン性　・その他、特に評価できる点
●応募方法：花づくりや環境整備の状況を申込書に記入し、カラー写真10枚程度
（花の様子5枚・作業の様子等5枚）を添えて下記まで提出してください
※提出いただいた写真については、広報のためにホームページやパンフレット等において掲載させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください
●応募締切：9月6日（金）　消印有効
●主　　催：宮城県・すばらしいみやぎを創る協議会
●応 募 先：すばらしいみやぎを創る協議会
〒980-8570　仙台市青葉区本町3丁目8-1
宮城県環境生活部共同参画社会推進課内
TEL：022-211-2576
コンクールHP：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/subamiyaindex.html

第7回　未来を強くする子育てプロジェクト 子育て支援活動の表彰

子どもの成長は、地域みんなの力で見守りたい…　住友生命では、子育て支援に取り組む団体や個人を表彰し、その貴重な活動をサポートしています。今年度からは新たに「震災復興応援特別賞」を設けました。ぜひご応募ください。
※詳細はHP・チラシの要項をご確認ください

●募集対象：より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体（規模は問いません）
※東日本大震災の被災者の支援、復興のために子育て支援活動を行う個人・団体も募集
●表　　彰：★文部科学大臣賞
表彰状　※未来大賞の1組に授与
★厚生労働大臣賞
表彰状　※未来大賞の1組に授与
★未来大賞
表彰状、副賞100万円（2組程度）
★未来賞
表彰状、副賞50万円（10組程度）
★震災復興応援特別賞
表彰状、副賞50万円（3組程度）
●応募方法：所定の応募用紙と必要資料を送付
※応募用紙と必要資料のフォーマットは、HPからダウンロード可能
●募集締切：9月10日（火）　必着
●主　　催：住友生命保険相互会社
●連 絡 先：「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-14-7 光ビル
TEL：03-3265-2283（平日10:00 ～ 17:30）
URL：http://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/child/

イ　ベ　ン　ト

7/20 どこコレ？　～おしえてください昭和のセンダイ～

20世紀アーカイブ仙台では、昔の写真や8ミリ映像の収集・保存を行っています。集まった写真の中には、どこを撮ったのか?いつごろのものか?わからないものがたくさん。会期中、そんな写真や映像を会場に展示しますので、皆さんが知っている情報を教えて下さい。懐かしい写真や映像も多数展示。あわせて、当時のお話を聞かせて下さい。

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.7.16現在)敬称略

●正会員　50名

★気仙沼市　●NPO法人ネットワークオレンジ
★塩竈市　●北尚登
★仙台市　●NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
●向陽台一歩の会　●NPO法人子どもの村東北
●NPO法人仙台シニアネットクラブ
●NPO法人せんだい杜の子ども劇場
●NPO法人みどり会　●大久保朝江　●甲山知苗
●佐々木覚亮　●藤原範典　●宮内昭穂
★山元町　●NPO法人里山ひろば

●賛助会員　81名

★石巻市　●西公園プレーパークの会 阿部正樹
★塩竈市　●NPO法人高齢者サポートチームしおたが
●塩竈 花「浜街道」をつくる市民の会
●NPO法人まごころサービス塩釜センター
★仙台市　●高齢者配食サービスぽけっと・はうす
●NPO法人在宅緩和ケア支援センター虹
●(社福)仙台ビーナス会　●NPO法人童里夢
●(公社)認知症の人と家族の会 宮城県支部
●梅森収　●岡崎トミ子　●小山かほる　●郡和子
●鈴木啓子　●仙台腎泌尿器科 豊田精一　●田所希衣子
●つのだ歯科医院 角田哲　●遠谷幸恵　●深野せつ子
●リンデンバウム 岩手次男　●安田邦夫

会　員　募　集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種別	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座
口座番号　**02250-0-43800**
加入者名　**特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる**
（会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。）

information

7月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

仙台短篇映画祭 ボランティアスタッフ大募集！！

毎年秋にせんだいメディアテークにて開催している、市民による市民のための映画祭「ショートピース！仙台短篇映画祭」。今年は、9月21日（土）～23日（月・祝）に開催します。私たちと映画祭を一緒に創り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。映画祭を通じて一緒に仙台を盛り上げませんか？経験が無くて心配という方も、映画に興味のある方はぜひご相談ください。

◎このような方をお待ちしています！！
★当日、映画祭の運営のお手伝いをしてくれる方
★映画制作に興味のある方。カメラ等の記録用機材を扱える方
★チラシ配布や、新聞・ラジオ・WEBで広報活動ができる方
※特に、平日・昼間に活動できる方、歓迎です！
※学生さんも大歓迎です！

●募集主体：仙台短篇映画祭実行委員会
●連 絡 先：〒980-0821　仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク7F　企画・活動支援室内
E-mail：info@shortpiece.com
URL：http://www.shortpiece.com/
Facebook：https://www.facebook.com/shortpieceSendaiShortFilmFestival

地域支え合い活動ボランティア募集！

ひなたぼっこは、地域の住民や行政機関と連携しながら、子育て中の親子や被災者を対象としたサロンの運営や、見守りを重視した配食サービス・地域食堂等を行っています。地域の支え合い活動等に興味のある方、私たちと一緒に活動してみませんか。

●活動日時：月～日　9:00 ～ 18:00
※登録制のボランティアとし、上記の活動時間のなかから、ボランティアさんのご都合に合わせた曜日や時間で活動をお願いします。
●活動場所：国見・千代田のより処ひなたぼっこ
青葉区国見地区周辺で活動しています
●活動内容：⑴サロンボランティア
・ひなたぼっこで行う各種サロンの運営・企画、傾聴
⑵見守り・配達ボランティア
・配食を兼ねた見守り活動・買い物代行
⑶調理ボランティア
・配食・地域食堂の調理手伝い
⑷取材編集ボランティア
・月1回発行している地域情報誌「みんなのわ」の取材や編集等
●条　　件：・空いている時間を利用してみたい方、人の為に役に立ちたいとお考えの方
・資格や特技、経験（資格はなくても介護や調理の経験など）のある方
・お話が好きな方
・車両や自転車、徒歩での配達が可能な方（配達ボランティア）
・調理の好きな方または得意な方
●募集主体：NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）
●連 絡 先：国見・千代田のより処　ひなたぼっこ
〒981-0936　仙台市青葉区千代田町1-13
TEL：022-343-1340　FAX：022-301-8821
E-mail：kunimi_hinata@clc-japan.com
URL：http://www.clc-japan.com

有給スタッフ

障がいのある人たちと一緒にお弁当の製造、販売員を募集しています

知的障がいのある人たちと一緒に楽しく働いてみませんか。特に経験は必要としませんが、障がい者に理解がある方、活動に興味のある方、お待ちしています。

●活動日時：月曜日～金曜日（祝休日を除く）
9:00 ～ 15:00間の4時間位

【お弁当製造・販売】
●活動場所：仙台市若林区遠見塚2-41-5
※自動車通勤可
●活動内容：弁当作りor市役所内での職員等のお弁当販売など
●対　　象：自動車運転免許保持者
福祉関係および調理関係の資格あれば優遇します
●募集人員：若干名
●報　　酬：時給800円
交通費別途支給及び雇用保険適応

【レストランぴぁ】
●活動内容：レストラン業務or県庁舎内での職員等のお弁当販売など
●活動場所：レストランぴぁ（宮城県庁舎内18階）
※自動車通勤不可
●募集人員：若干名
●報　　酬：時給800円
交通費別途支給及び雇用保険適応

●募集主体：NPO法人福祉ネットABC
●連 絡 先：〒984-0823　仙台市若林区遠見塚2-41-5
TEL：022-781-0161　FAX：022-781-0167
E-mail：peer-abc@tune.ocn.ne.jp
URL：http://www.k4.dion.ne.jp/~fn-abc/index.html

みやぎNPOプラザ

貸事務室
貸ショップスペース
使用団体募集中!!

団体の新たな活動拠点をお探しではありませんか？
みやぎNPOプラザには、市民活動団体・NPOが使用できる事務室やショップスペースがあります。このたび、貸事務室・貸ショップスペースの使用団体をそれぞれ募集することになりました。事業の拡大などで、引っ越しをお考えの皆さま、是非ご検討ください！

募集施設	面積	月額使用料	募集団体数
①ショップ・ギャラリー	約10㎡	10,000円	1団体
②事務室（中）	約9㎡	9,000円	1団体

※100V電源コンセント、電話用モジュラージャックは上記金額内で使用可。
インターネット用モジュラージャックの使用については別途月額1,000円の使用料が必要です。

■ 募集対象団体

・県内で活動するNPOや市民活動団体（NPO法人格の有無は不問）
・団体の規約に基づいて総会の開催、事業報告、収支決算が行われている団体

■ 申込方法

「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法、入居までのスケジュールなどの詳細を必ずご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPOプラザまで持参または郵送してください。

■ 募集要項・申込書配布場所

みやぎNPOプラザ窓口、宮城県NPO・協働社会推進班で配布しています。
また、下記サイトからもダウンロードできます。
みやぎNPO情報ネット　http://www.miyagi-npo.gr.jp/

申込締切 H25年 8/25(日)

問合せ・申込先：みやぎNPOプラザ（連絡先は8pをご覧ください）

みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN プロジェクト 2013

参加費無料 定員50名（先着順）

大津波から生き残った蒲生の自然を見て回ろう！

9月29日（日）
9:00～12:00（予定）

干潟生態系は少しずつ、再生への道のりを歩んでいます。
大津波の影響によって、蒲生干潟とその周辺地域は
以前と風景が変わってしまいました。
以前とは、どのように違っているのか、
再生した場所などをバスで巡ります。
新たな風景をきっと見つけられるはずです。

集合場所：仙台駅周辺
観察会会場：蒲生干潟と周辺地域
対　　象：①県内の親子（乳幼児は不可）
②自然や生き物に興味のある一般市民
申込締切：9月19日（木）

共催：蒲生を守る会、NPO法人杜の伝言板ゆるる、
認定 NPO法人 日本NPOセンター
協賛：損保ジャパン 日本興亜損保
後援：仙台市（申請中）、仙台市教育委員会

問合せ・申込先：NPO法人杜の伝言板ゆるる

杜の伝言板 ゆるる
発行：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL 022-791-9323　FAX 022-791-9327
E-mail npo@yururu.com　URL http://www.yururu.com
編　集：大久保　朝江　大西　直樹　村上　千恵
デザイン：can
発 行 日：2013年8月1日
発行部数：10,000部
印　刷：コマツ・コーポレーション
VEGETABLE OIL INK